

# 生

# 活

# だより

登別市立若草小学校

生徒指導部

令和2年6月30日 第4号

もうすぐ七夕です。例年、若草の子どもたちも町内のお宅を訪問し、ろうそく（最近ではお菓子）をいただいて回るなど、七夕の日を楽しみにしていることと思います。

ところが、今年は例年とは状況が大きく異なります。北海道では、29日、11人が新たに新型コロナウイルスに感染し、道内の感染者が10人を超えるのは2日連続で、緊急事態宣言が解除されてから初めてであり、依然として感染防止に最大限注意する必要があります。

## 自他の感染を防ぐためにできること

感染予防のためには、これまでの指導通り3つの「密」を防ぐことです。密集・密接・密閉の3つの「密」が同時に発生した場合に、感染のリスクは非常に高くなります。ですから、3つの「密」が重ならないように、そして、1つでも「密」の状態を少なくするよう注意していくことが大切です。こうした点から、**今年の七夕は各家庭を訪問するのを控えるようにしましょう。**

## 訪問することで不安に思う方もいます

七夕は年に1度のイベントです。地域の方の中には、小学生が訪ねてくることを楽しみにしている方もいるかもしれません。一方、現在のコロナの状況を踏まえて、感染に十分気を付けて生活している人たちも多数います。特に、今回の新型コロナウイルスは、年齢が若い人より高齢の方の持病のある方が重篤な症状になりやすいということが報告されています。また、抗体検査を受けた人たちの結果から、多くの方が感染しても無症状だったか、症状が出てても軽症だった可能性も指摘されています。今年は各地でも様々なイベントが中止になっています。それだけ、まだ感染拡大の危険があるということです。

## 今年は地域を回るのを控えましょう

そもそも七夕とは、昔、中国から日本に伝わった星祭りのことです。ひこ星と織りひめという男女の星が、天の川をはさんで向かい合い、この2つの星が1年に1度、7月7日にだけ会えるという言い伝えから始まったお祭りです。

日本には、奈良時代に伝わったと言われていますが、いまの形に近くなったのは江戸時代だということです。

夏の夜、8時ごろに東の空を見上げると、3つの明るい星が見られます。それらの星を線で結ぶと大きな三角形ができあがります。これを「夏の大三角」といいます。ベガは織りひめ、アルタイルはひこ星にあたるそうです。

今年は、家族で短冊に願い事を書いたり、きれいな星空を見上げたりして、七夕の日を楽しんでみませんか？

